



自彊日新

令和6年(2024年)4月号
加賀市立片山津中学校 学校通信
文責 勝木 一弘

【学校教育目標】

「自律・協働・創造の意志を持って主体的に生きる生徒の育成」

58名の新入生を迎え入学式

～式辞抜粋～

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心より歓迎します。今、日本は安定成長の時代から変化創造の時代へと移行しました。さらに日本の人口は減り続け、昨年は63万人もの人口が減りました。人手不足のため、単純な仕事は、AIやロボットが担い、皆さんは「人間にしかできない決断」を求められる仕事に就くこととなります。この変化創造の時代の中で「充実した生活」を送るためには、「主体的な生き方」ができることが重要です。これから皆さんには、主体性を身に着けることを最上位目標として中学校生活を築いてほしいと思います。そこで、主体性を身につけるために磨いて欲しい力が3つあります。



一つ目は、自分の考えを持ち行動する力です。(自律)

二つ目は、自分の言動をコントロールしながら対話する力です。(協働)

そして三つ目は、失敗してもあきらめず挑戦し続ける力です。(創造)

この三つの力を磨き、主体性を身に着け、この変化の時代に行動できる創造者となって欲しいと願っています。



次に、保護者の皆様に申し上げます。本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より、片山津中学校の生徒としてお預かりいたします。加賀市の教育は、令和の日本型学校教育の実現を目指し大転換が始まりました。例えば、授業は、これまでの一斉授業から子どもたちに委ねる授業を目指しています。本校では、自由服登校日やスワトンカンパニーといった、子どもたちの主体性を育む取り組みも実践されています。しかし、これらはここにいる誰もが経験していない挑戦です。失敗もあると思います。私たち教職員も決してあきらめず挑戦し続けていきます。どうかご協力ください。不安なときはどうぞ学校を見に来て下さい。子どもたちを、令和の時代を、主体的に生き抜く人に、育てたいと思います。保護者の皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます。

新入生の皆さん、改めてもう一度、入学おめでとう。片山津中学校の校訓は、「自彊日新」です。「自分で考え努力し日々新しいことに挑戦する」という意味です。この校訓を実践し、令和の片山津中学校を一緒に創っていきましょう。

中学生になった私の思い（生徒の作文）

僕が中学生になって頑張ることは勉強です。なぜかというと中学校は内容が難しくなったり 覚えることが増えたりするからです。でも、授業をよく聞きしっかりと内容を覚えていきたいです。他に僕は部活動を頑張りたいです。分からないこともあると思うけど先生たちに質問して自分から素早く行動したいです。それから、他の小学校の生徒も増えたけど少しずつ話していき仲良くなりたいです。そして助け合い笑顔のあふれるクラスにしたいです。不安に思うこともあるだろうけど、小学校の時のことを思い出して、しんどいことも乗り越えていきたいです。

生徒主体の「新入生歓迎会」開催〔4月11日（木）〕

生徒会主催の新入生歓迎会では、「生徒会各委員会の紹介」と「各部活動の紹介」が行われました。右の写真は、今年度前期の生徒会目標「our♡（ハート）level up²」です。「our」は私達を意味し主体性を、「♡ level up」は心の成長で自律を「2」は複数での協働を意味します。



「夢授業」講演会実施〔4月12日（金）〕

総合的な学習の時間において、夢に向かって生きることを求めて活動を始めようとしています。そこで、元県立錦丘高校校長堀義明先生にご講演いただき、堀先生の人生を含めた様々な方の夢の実現の道筋をお聞きしました。

私はまだ夢が決まなくて、英語も苦手でなんのために勉強せんなんのと思っていました。でも夢が決まっていからこそ夢を見つけるために英語を勉強するという考え方もあるんだなと思いました。（2年女子感想）

5月2日（木）には、授業参観、PTA総会、各学年の保護者説明会が開催予定です。是非ご参加ください。

お知らせ等は、片山津中学校ホームページに載せてありますのでご覧ください。

<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/katayj/>